

## <令和5年7月定例記者会見>

### 1 開催日時

令和5年7月5日（水）午前10時から10時20分まで

### 2 場所

滝沢市役所 庁議室

### 3 来庁した報道機関

岩手ケーブルテレビジョン、盛岡タイムス社、岩手めんこいテレビ、朝日新聞

### 4 発表事項

#### (1) 市有馬「滝姫」の仔馬の名前の募集について

滝沢市で所有している農用馬の「滝姫」が、令和5年5月22日に第7子を出産しました。この仔馬について、市で継続所有することとしたので、別添要項のとおり名前を募集いたします。

先月開催したチャグチャグ馬コでは、22万3千人という過去最高の人出を記録しました。その一方、装束馬の出馬頭数は55頭と、ピークであった平成2年の102頭から半分近くまで減少しており、大きな課題となっています。市内の農用馬の飼育頭数も年々減少傾向にあり、県内外から相当数の馬を借用してチャグチャグ馬コを実施しているのが現状です。

そこで滝沢市では、市内の馬資源の確保を目的に、メスの農用馬を所有し、及び繁殖させ、生産された仔馬をチャグチャグ馬コへの出馬者に無償で譲渡する取組みを行ってきました。これまで5人のチャグチャグ馬コ同好会滝沢支部会員に計5頭の仔馬を無償譲渡しています。

今回生まれた仔馬について、市で継続所有し、名前を公募することで、皆様のチャグチャグ馬コへの関心の高まりと伝統文化の継承に向けた更なる支援につながることを期待しております。「滝姫」と仔馬は、馬っこパーク・いわてで会うことができますので、どうぞご覧ください。

名前は、お寄せいただいた命名案の中から選考により決定し、秋頃開催予定の命名式にて発表いたします。命名式には、名前の考案者にも出席いただく予定です。

皆様から愛される名前となりますようどうぞよろしくお願いいたします。

#### (2) 令和5年度「滝沢スイカまつり」について

15回目となる「滝沢スイカまつり」は、8月11日（金・祝）、午前5時からビッググループ滝沢において開催いたします。

6月時点でのスイカの生育状況は、例年より若干早く成長しており、これからの天候の影響もありますが、今年もおいしいスイカが収穫されることと思います。収穫は7月下旬から始まり、ピークはお盆頃となる見込みです。

スイカは夏バテ防止や熱中症の予防にも効果が期待できます。暑い夏を乗り切るためにも、美味しく健康にも良いスイカを是非お買い求め下さい。

また、今年の「滝沢スイカまつり」も滝沢日曜朝市と共同開催することとなっております。いっそうの盛り上がりが見込めます。

たくさんのスイカをご用意する予定ですので、皆様のご来場をお待ちしております。

なお、報道各社の皆様におかれましては、詳細は決定したのちに、改めてプレスリリースさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

## 5 市発表案件について記者からの当日質問

記者：チャグチャグ馬コ行進馬の減少という課題がある中で生まれた牝馬ということで、今後伝統的な行事の継続といった面でも、市長はどういったことに期待しますか。

市長：今回初めてチャグチャグ馬コで、滝沢市から盛岡市にかけて馬に乗せてもらいましたが、見ている皆さんがずっと笑顔でした。その笑顔をこれから先も見ていられるように、頑張らなければいけないと感じました。参加者の皆さんは、馬の引き手の方も楽しそうで、ずっと笑顔で沿道に手を振ってくださっていましたし、写真撮影会も馬がゆっくり歩く様子や、田んぼの近くなど本来あるべき馬と農業の関係性が分かる風景が市内にはあると改めて感じた。これからも、この行事がたくさんの方に愛されていくために我々にはどんな支援ができるのか、そして仔馬についても関係者と様々協議しながら、これからの馬事文化の継承について考えていきたいと思えます。

記者：仔馬が生まれたことについては、皆さんどう感じていらっしゃるでしょうか。

市長：現在名前を募集しているところですが、市を連想できるような名前や、仔馬の色や愛らしさなどから様々な名前を皆さんに考えていただければと思います。

記者：名前を公募して付けてもらうことで、行事の際も注目してもらえるといいですね。

市長：名前の公募の目的は、チャグチャグ馬コという行事への愛着と馬資源について、そして馬事文化への関心を持っていただくという考えがあります。滝沢市では開拓や開墾の時をはじめ、米や野菜を生産するときに農地を耕したり、馬が特にも力になってくれています。そういった市の風景と一緒に作ってきた馬をぜひ身近に感じてもらえればと思います。

記者：行進馬が減っているというのは、根本的な原因はどういったところにあるのですか。

市長：馬を飼うためには小屋を用意しなければなりませんし、生き物を飼うというのは365日常に寄り添う覚悟というのも必要です。今も飼料の高騰であったり、様々な課題があります。馬の扱いも覚えなければなりません。市でもチャグチャグ馬コの時だけでなく、馬をもっと身近に感じてもらうように、馬にスノーチューブを引いてもあったり、田んぼの代掻きで泥の中を歩いてもらったりと、農家さんに様々なイベントも考えていただいているところです。市のYouTubeチャンネルでも様子はアップロードされていますので是非見ていただければと思います。

記者：馬を飼うというのは1年通してお金がかかるというのもあるのでしょうか。

市長：そうですね。しかしお金よりも、飼うことで得られる楽しさも大きいと思います。そのあたりをどう考えるかによって変わってくると思いますし、そういった農家の方が増えるといいなと思っています。馬ふんをたい肥にしたスイカの栽培であったり、馬を飼うことだけではなく、そこから生まれた副産物で様々なおいしいものを生産するなど、市内の農家の皆さんは一緒になって馬事文化の継承に取り組んでくれています。

記者：スイカのかぶり物はいつからかぶっているのですか。

市長：スイカに関連する内容のときは時々かぶっています。先日もYouTubeでの動画撮影

のために着用しました。かぶりはじめは6月ころだったかなと思います。

記者：スイカまつりの終了時間は協議中とありますが、例年だと何時ころ終了になりますか。

農林課長：なくなり次第ではありますが、去年は午前8時までということをやっていましたが、スイカの数もあまり揃わず、午前7時ころにはなくなってしまうという状況でした。そのため今年については終了時間をいつにするか、これから出店者の皆さんと協議していきます。

記者：いずれにしろ、相当早い時間に行かないといけないということですね。

農林課長：そうですね。午前5時の時点でもかなり多くの皆さんが来ている状況です。

記者：普通に購入するのとスイカまつりで買うのでは、何か違うのですか。

経済産業部長：安いというのもあると思いますし、直接農家さんが販売に来るので、会話しながら買い物ができます。お目当ての農家さんがいて、そのスイカを買うという方もいます。

記者：そちらに（市長の近く）にあるのは、今年収穫されたスイカですか。

市長：こちらはスイカの模型でした。

記者：収穫のピークはまだだと思いますが、今年はまだ穫れていませんか。

農林課長：そうです。一部、ハウスを使っている農家さんもいらっしゃいますが、その方についても、早くて収穫まではあと1週間くらいかなということでした。ハウスを使っていないところでは、7月末～お盆くらいがピークになると思います。

記者：市長から、今年のスイカについてコメントをいただきたいです。

市長：梅雨明けはまだですから、まずはスイカの生育に一番影響を与える好天、少しでも天気が良くなればいいなということと、農家の皆さんは土づくりをはじめ日々の管理をしっかりと積み上げてくれているので、今年も確かなものが生まれると思っています。合わせて、馬ふんたい肥を使ったスイカや、農家の皆さん個々がそれぞれ様々な工夫をしてスイカを栽培しています。これまで積み上げてきた土の良さから生まれるスイカの味をぜひ皆さん味わっていただきたいです。スイカは熱中症予防などにも効果的です。暑い夏を、滝沢スイカを食べて乗り切っていただきたいです。

## 6 その他記者からの当日質問

記者：今年は何事選、県議選がありますが、どういったところが争点になりそうか、期待することがあればお聞きしたいです。

市長：まずは有権者の皆さんがきちんと投票してくれるような、争点を明確にした選挙戦になればいいなと思います。まずは有権者が投票所に足を運んでくれるように、これから岩手の4年間の未来を決める大事な選挙であると、関心をを持ってもらえればいいなと思います。

記者：市長としては争点としてどのような部分が考えられますか。

市長：私としては、市長として、あるいは市民として様々な立場で考えますが、岩手県の未来をどう作っていくか、まだまだ岩手県に埋もれているたくさんの宝をどうアピールしていくか、新たな展開を望んでいる部分はあります。

記者：もう少し先かとは思いますが、支持表明についてはいかがですか。

市長：それよりもまずは、有権者の皆さんに投票に来てもらえるようにそういった環境をどう作っていくかという部分をしっかり考えていきたいと思っています。